

その他の危険有害性情報の「見える化」

・ 現場における危険箇所、安全の見える化

現場の情報(危険箇所・通路等)を記したヒヤリハットマップを作成し、作業員が必ず目にする位置に設置することで、現場情報を共有する。

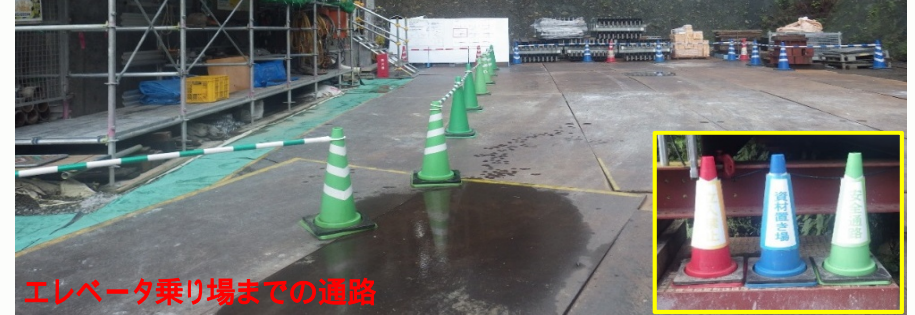


ヒヤリハットマップ (施工の進捗に合わせて随時更新)
現場入口
エレベーター内

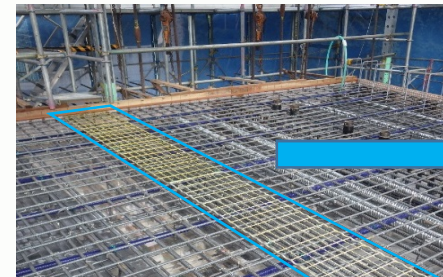


デジタルフォトフレームを使用して、災害事例や現場ルール等をランダムに表示することで、安全意識の向上を図る。

ヒヤリハットマップの情報を、カラーコーンの色で現場内に明示し、危険箇所、安全の見える化を図る。



エレベータ乗り場までの通路
赤:立入禁止(危険箇所) 青:資材置場 緑:安全通路



鉄筋上の通路には、黄色に着色したメッシュロードを使用することで、鉄筋との同化を防止でき、視認性が向上することから、転倒災害の防止に繋がる。